

イラクの金融インフラ

2010年12月20日
@イラクビジネスセミナー

Dubai Branch (Regulated by DFSA)

Mizuho Corporate Bank

目次

1. マクロ経済動向
2. 金融セクターの概要
3. 銀行の与信機能
4. 将来見通し



البنك المركزي العراقي
CENTRAL BANK OF IRAQ

1. マクロ経済動向

□ IMFレビュー(2010年10月発表)

「政治・治安情勢は引き続き不安定な状況」

「2010年上半期の原油輸出量(通年目標210万b/d、実績188万b/d)は当初計画を下回ったが、原油価格見込みが計画を予定を大幅に上回った(2010年予算62.5ドル/d、上半期実績平均75.0ドル/d)」

「インフレ率の一桁台前半での推移、為替レートの安定など2010年上半期を通じてマクロ経済は安定的に推移」

「経済関連政府機関の再構築にも一定の評価」

「中長期的な安定財政を早期に実現させるため、環境・インフラ整備を早急に進めるべき」

1. マクロ経済動向

□ IMFレビュー(2010年10月発表)詳細

A. マクロ経済とリスク:

- ・イラクの長期的展望は、原油生産の飛躍的拡大と、これに伴う国内外からの投資拡大見込みで非常に力強い。治安の改善次第で非石油産業GDPが回復する見込みもある。
- ・しかし短期的には原油価格の変動、政治・治安情勢の悪化懸念のダウンサイド・リスクにさらされている。
- ・2010年の財政赤字はGDPの14%程度を見込み、2011年はGDPの10%未満を目標としているが、2011年予算案の油価を保守的に見積もり、かつ資本支出の上昇幅を抑えることで、同赤字幅としてGDPの8%程度をIMFは求めている。
- ・低インフレ率、安定した為替政策には成果。一方、銀行による金融仲介機能が弱い点を改善する必要あり。

B. 構造改革

- ・プログラム予防的措置: イラク中央銀行の2009年度決算までは外部監査済。2010年6月末時点でのネット対外準備高、ネット国内資産の特別監査が義務化された。2010年6月に行われた予防措置評価では、中銀内の外部監査意見への対応、同内部コントロールの仕組み欠如、諸報告書の完成遅延などが含まれ、この対応として、2010年12月末までの著名会計会社との複数年契約、2010年10月末までの内部コントロール委員会の設立などが義務化されている。
- ・公的金融管理: 2010年6月末、商業銀行が保有する政府関連預金の分類作業が実施され、中央政府預金ID9兆8,000億のうちID7兆6,000億を財務省分と認定(この中にはオープンL/Cのカバー対応資金も含む)。さらに別途、その他公的機関(年金基金、国営企業、政府持ち株)預金としてID20兆が認定。今後、これら資金の効率化追及に向けた議論も必要。年次財政報告は国会での承認を必要としているが、政府歳出部門が作成する月例会計報告にはカバー範囲や迅速性において不十分な面もある。2010年12月を完成目処としている総合会計マニュアルにより、さらなる改善が期待されている。

B. 構造改革(続き2)

- ・ **オイル・セクター**: 2010年2月、搾取産業透明性イニシアチブ(EITI)の参加加盟候補国となり、イラク政府は石油産業の全輸出収入情報公開を開始。2011年後半にEITI報告書を提出し、2012年2月までのEITI基準充足を予定。またイラク開発基金(DFI)後継メカニズム構築のため、国連安全保障理事会に対し行動計画書を提出。DFIと同様理念の単一の原油輸出入代金用口座を維持する立場には変わらないが、2010年12月末のDFI期限切れ前に、サッダーム時代から引きづる諸問題を解決する必要あり。

- ・ **外貨準備管理**: イラク中銀はIMF勧告に従い、外貨準備高に関する報告を始めた。

B. 構造改革(続き3)

- ・ 銀行セクター改革: イラク政府にとって大きな課題である二大国営銀行、Rafidain BankとRasheed Bankのバランスシート改革については進捗していない。これは主に内部処理能力の欠如と関係者間でのコーディネーションの乏しさを反映している。レビュー期間中、銀行リストラの専門家の協力を得て、詳細なアクションプランが準備された。新たなプランの下、銀行調整ユニット(BRU)が作られることとなり、同ユニットは中銀が議長を努め、中銀、財務省、最高監査ボード(BSA)、Rafidain・Rasheed、さらにErnst & Young専門家の事務レベルスタッフにより構成され、前政権下が残した資産と負債への対応を担当することになる。なおBRUは、財務大臣、中銀総裁、最高監査ボード議長によって構成されるリストラクチャリング監督評議会(ROC)の監督下におかれ、これら銀行のバランスシート・リストラに必要とされるサポートや承認の確実な遂行を促していく。新たな計画の下、 Saddam時代資産・負債を抱えるこれら二大銀行のバランスシート一掃期限は2011年6月に延長された。

<主要経済指標（2007～2012）>

	2007	2008	2009 (見込み)	2010 (見込み)	2011 (見込み)	2012 (見込み)
実質GDP成長率 (% change)	1.5	9.5	4.2	2.6	11.5	11.0
非石油実質GDP成長率 (% change)	-2.0	5.4	4.0	4.5	5.0	5.5
一人当たりGDP (US\$)	1,926	2,845	2,108	2,626	2,827	3,245
GDP (US\$bn)	57.0	86.5	65.8	84.1	92.9	109.2
原油生産(mbpd)	2.04	2.3	2.4	2.4	2.8	3.2
原油輸出(mbpd)	1.59	1.8	1.9	1.9	2.2	2.6
原油輸出価格 (US\$ pb)	63.0	91.5	56.5	73.1	68.0	70.5
インフレ率 (% change; 年末時点)	4.7	6.8	-4.4	6.0	5.0	5.0

(IMF資料からみずほコーポレート銀行作成)

<財政・石油部門収支(2007~2012)>

(兆/ID)

	2007	2008	2009 (見込み)	2010 (見込み)	2011 (見込み)	2012 (見込み)
歳入合計	60.3	87.0	59.9	74.8	81.9	96.1
歳入	56.4	84.2	57.6	73.1	80.5	94.4
原油輸出	47.1	73.9	45.6	60.0	65.3	78.3
原油関連国営企業	5.7	6.2	6.9	6.8	7.7	7.5
税金	1.1	1.3	1.8	1.2	1.7	2.3
その他	2.5	2.7	3.2	5.2	5.8	6.3
無償借款	3.8	2.8	2.3	1.6	1.4	1.7
歳出	51.4	90.4	76.8	88.7	90.8	91.8
経常支出	39.8	63.2	59.8	62.9	64.3	63.4
公務員給与・年金	13.8	21.1	27.7	28.5	30.1	30.2
物品・サービス（非石油産業）	7.6	13.9	13.1	11.0	11.6	11.2
物品・サービス（石油産業）	5.8	7.3	5.6	5.4	6.1	5.7
移転支出	9.1	16.0	10.7	13.4	11.2	9.9
金利支払い	0.6	0.5	0.4	1.1	1.5	2.1
イラク戦争保証金	2.4	3.7	2.3	3.0	3.3	3.9
投資	9.7	27.3	19.8	25.8	26.5	28.5
非石油産業投資	8.2	23.4	16.7	21.9	21.8	23.3
石油産業投資（含むリファイナリー）	1.5	3.8	3.1	4.0	4.6	5.1
収支（含む無償借款）	8.9	-3.4	-16.9	-14.0	-8.9	4.2
収支（除く無償借款）	5.0	-6.3	-19.2	-15.6	-10.3	2.6
資金調達	-8.0	-1.7	14.6	14.0	8.9	-4.2
対外調達	-2.5	-0.5	0.1	10.3	4.9	-1.0
国内調達	-5.5	-1.2	14.6	3.7	4.0	-3.2

(IMF資料からみずほコーポレート銀行作成)

<国際収支 (2007~2014) >

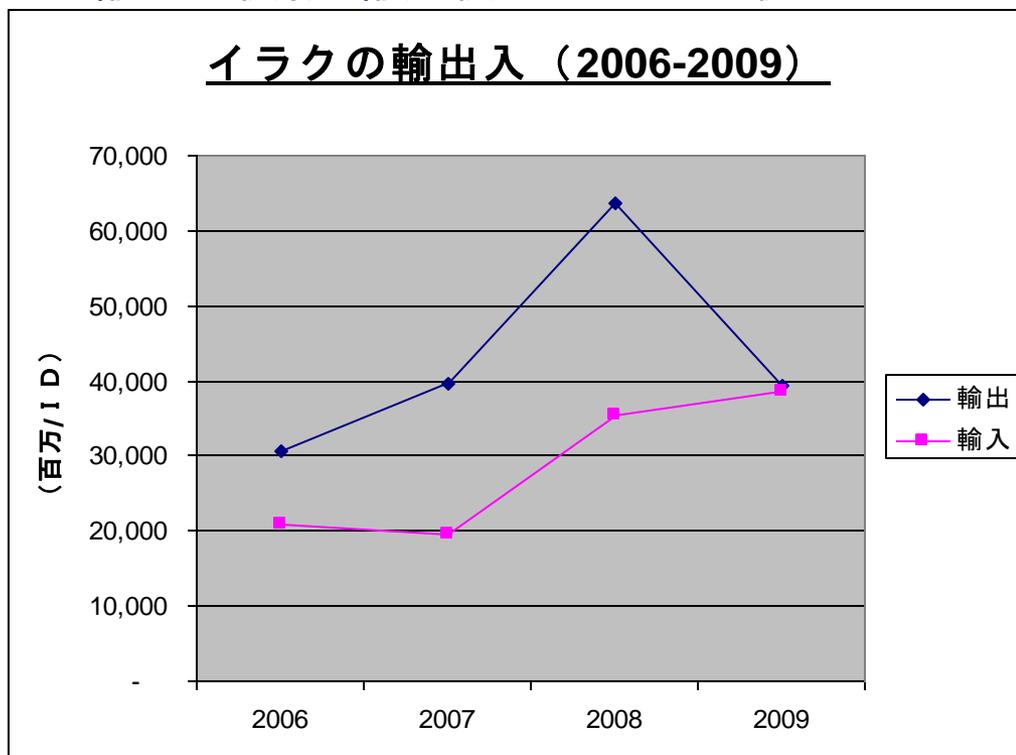
(UDS/mn)

	2007	2008	2009	2010 (見込み)	2011 (見込み)	2012 (見込み)	2013 (見込み)	2014 (見込み)
貿易収支 (対GDP比率、%)	13,266 23.3	21,201 24.5	-6,871 -10.4	1,654 2.0	2,275 2.4	9,101 8.3	17,239 13.9	28,168 19.8
輸出	37,835	62,013	39,069	51,934	56,680	68,101	79,111	94,890
原油	37,137	61,165	38,873	51,257	55,809	66,881	77,168	92,289
その他	698	849	196	677	871	1,220	1,943	2,601
輸入	-24,569	-40,812	-45,940	-50,280	-54,405	-59,000	-61,872	-66,723
政府輸入	-14,951	-24,971	-28,377	-28,138	-28,636	-24,763	-25,662	-26,917
消費品	-3,881	-4,367	-2,902	-8,275	-9,132	-7,123	-7,226	-7,380
非石油関連資本輸入	-6,981	-14,109	-19,169	-14,503	-14,486	-13,650	-14,423	-15,296
石油関連資本輸入	-1,394	-3,393	-4,300	-3,522	-3,919	-3,440	-3,475	-3,625
石油精製品	-2,802	-3,148	-2,009	-1,838	-1,100	-550	-538	-615
民間輸入	-9,168	-15,841	-17,562	-22,141	-25,768	-34,237	-36,210	-39,806
石油精製品	-2,227	-3,148	-3,278	-4,289	-4,398	-4,948	-4,843	-5,539
その収支 (ネット)	-3,377	-3,223	-3,874	-4,555	-822	-1,235	-1,718	-214
サービス収支 (ネット)	-4,004	-6,298	-6,385	-9,769	-10,861	-11,959	-12,660	-13,225
移転収支 (ネット)	1,234	-631	205	592	1,457	857	25	-546
経常収支	0	0	0	0	0	0	0	0
金融勘定	7,473	7,428	10,545	5,496	3,872	5,805	6,588	7,052
直接投資	964	1,822	1,526	1,991	3,964	5,371	6,148	7,071
その他資本投資 (ネット)	6,509	5,605	9,019	3,505	-92	434	440	-19
国際収支 (対GDP比率、%)	14,591 25.6	18,476 21.4	-6,379 -9.7	-6,583 -7.8	-4,079 -4.4	2,568 2.4	9,475 7.6	21,233 14.9
資金調達	-14,591	-18,476	6,379	6,583	4,079	-2,568	-9,475	-21,233
中央銀行 勘定(increase-)	-11,418	-18,751	5,869	-2,249	1,539	-764	-374	-9,779
IMF (ネット)	-455	0	0	2,867	831	0	-265	-1,544
債務放棄	-3	12,063	10,027	64,594	-	-	-	-
イラク開発基金 (increase -)	-3,960	-539	-35	5,726	1,709	-1,774	-5,468	-9,910
参考指標								
中央銀行外貨準備	31,455	50,206	44,337	46,586	45,047	45,841	49,583	59,362
中央銀行外貨準備 (月数、輸入カバー)	7.8	11.0	8.6	8.3	7.4	7.1	7.2	7.2

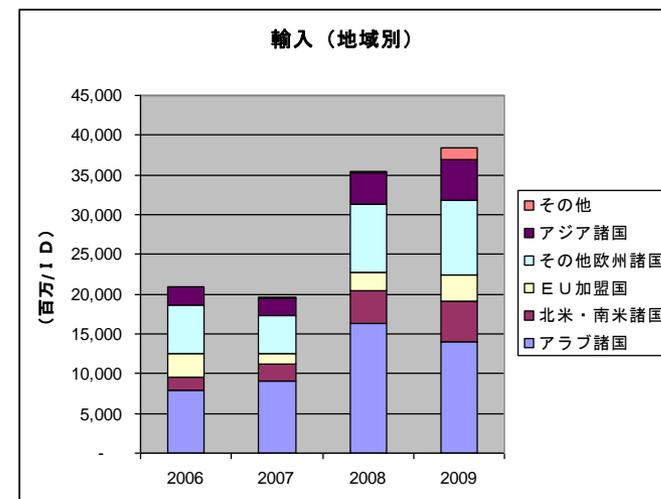
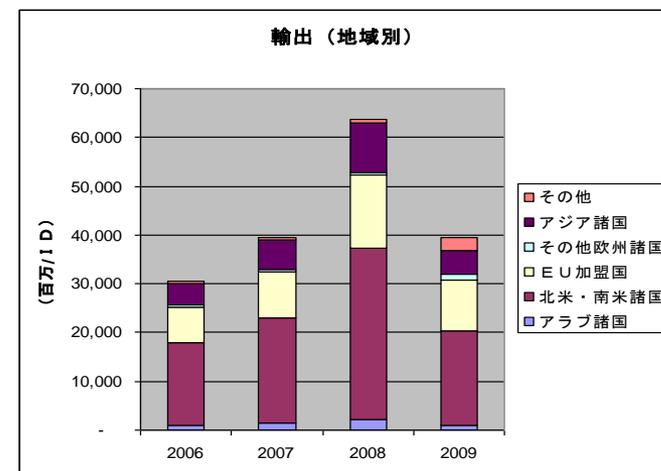
(IMF資料からみずほコーポレート銀行作成)

□ 貿易動向

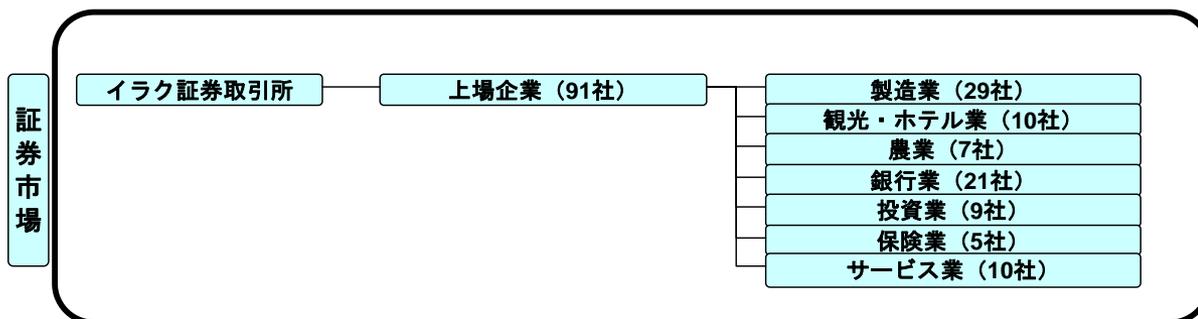
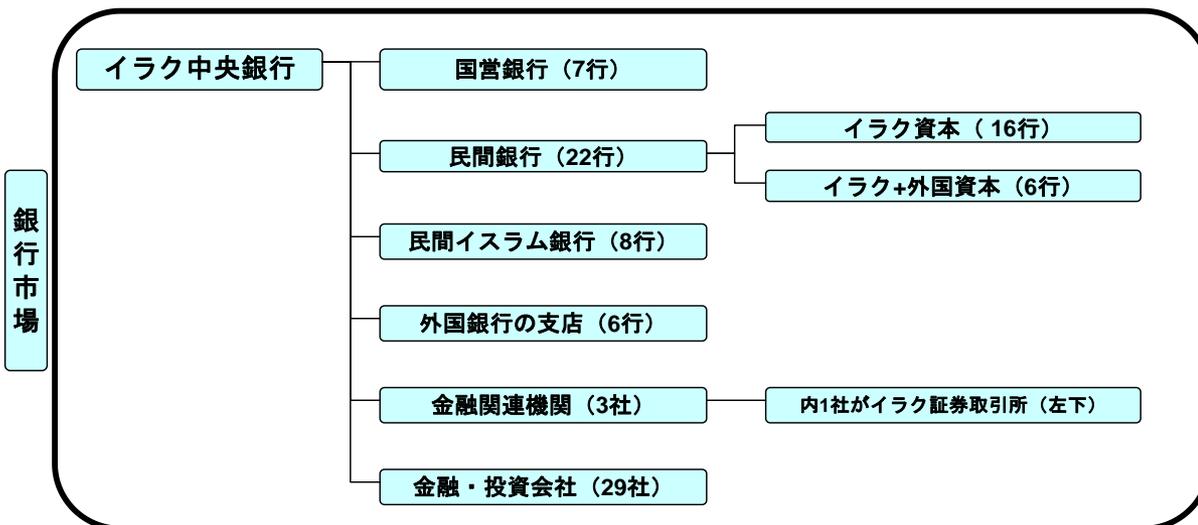
- ・輸出の99%以上が原油・ガス関連で約半分が北米・南米へ
- ・輸入は機械・輸送機器が38%で最大



(出所:イラク中央銀行資料からみずほコーポレート銀行作成)



2. 金融セクターの概要



- イラク中央銀行の役割り
 - ・金融・為替政策
 - ・金・外貨準備の保有
 - ・通貨発行(イラキ・ディーナール)
 - ・決済システムのコントロール
 - ・銀行監督、ライセンス発行

- 銀行資産規模
 - 約2,870億ドル(データ上)
 - ※バハレーンとほぼ同規模(除くクルド地区)

- 民間銀行36行の設立時期
 - 89年まで:なし
 - 90～99年:13行
 - 00～03年:4行
 - 03年イラク戦争以降:19行

- 証券市場時価総額:
 - USD2,924m

(出所:イラク中央銀行他)

□ 銀行セクターの特徴

- ・ようやく銀行セクターが生まれたところ。国際スタンダードには程遠い
- ・イラク国民に銀行口座は未だ普及しておらず、一般的に現金が中心
- ・国営銀行のみの時代が長く、中央銀行の銀行監督機能は始まったばかり
- ・支店数が少ない(人口37,000人に1支店の割合)。キャッシュカード・クレジットカードなどの発行も始まったばかり。オンライン化対応済み銀行はまだ少数
- ・国営銀行の過小資本(除くTBI)と不良資産の問題に要対処
- ・民間資産規模(2009年12月末)は国営銀行の37分の1
- ・民間は同族経営銀行が多い。最低資本金の引き上げ規制が定められ、2011年6月までにID100bn(約8,500万ドル)、さらに2013年までにID250bn(約2.1億ドル)が求められる
- ・民間が中央銀行からの外為カバー取引に時間を要すなど、決済を含む銀行システム構築が急務
- ・外資はわずかながら始動。周辺国勢が多い

<国営・民間銀行の比較>

	支店数	(構成比)	資本金 (百万/ID)	(構成比)	資産 (百万/ID)	(構成比)
国営銀行	391	51%	603,600	25%	325,562,068	97%
民間銀行	383	49%	1,833,466	75%	8,674,834	3%
合計	774	100%	2,437,066	100%	334,236,902	100%

(出所：イラク中央銀行データよりみずほコーポレート銀行作成)

総資産上位5行

国 営					民 間				
銀行	設立	総資産 (百万/ID)	資本金 (百万/ID)	支店数	銀行	設立	総資産 (百万/ID)	資本金 (百万/ID)	支店数
Rafidain Bank	1941	285,723,148	25,000	165	Warka Bank for Investment and Finance	2000	994,671	75,000	61
Rasheed Bank	1988	19,000,308	2,000	137	Bank of Baghdad	1992	804,729	85,200	31
Trade Bank of Iraq	2004	16,833,056	500,000	8	Basra International Bank for Investment	1993	652,058	55,000	17
Agricultural Cooperative Bank	1935	1,591,514	600	52	Albilad Islamic Bank for Investment and Finance	2006	630,633	100,000	12
Real Estate Bank	1948	1,055,993	50,000	17	Iraqi Middle East Investment Bank	1993	559,093	55,000	19

資本金上位5行

国 営					民 間				
銀行	設立	総資産 (百万/ID)	資本金 (百万/ID)	支店数	銀行	設立	総資産 (百万/ID)	資本金 (百万/ID)	支店数
Trade Bank of Iraq	2004	16,833,056	500,000	8	Albilad Islamic Bank for Investment and Finance	2006	630,633	100,000	12
Real Estate Bank	1948	1,055,993	50,000	17	North Bank	2004	515,449	100,000	8
Rafidain Bank	1941	285,723,148	25,000	165	United Bank for Investment	1994	440,778	100,000	6
Industrial Bank	1946	517,990	25,000	7	Bank of Baghdad	1992	804,729	85,200	31
Rasheed Bank	1988	19,000,308	2,000	137	Credit Bank of Iraq	1998	366,758	85,000	15

(出所：イラク中央銀行データよりみずほコーポレート銀行作成)

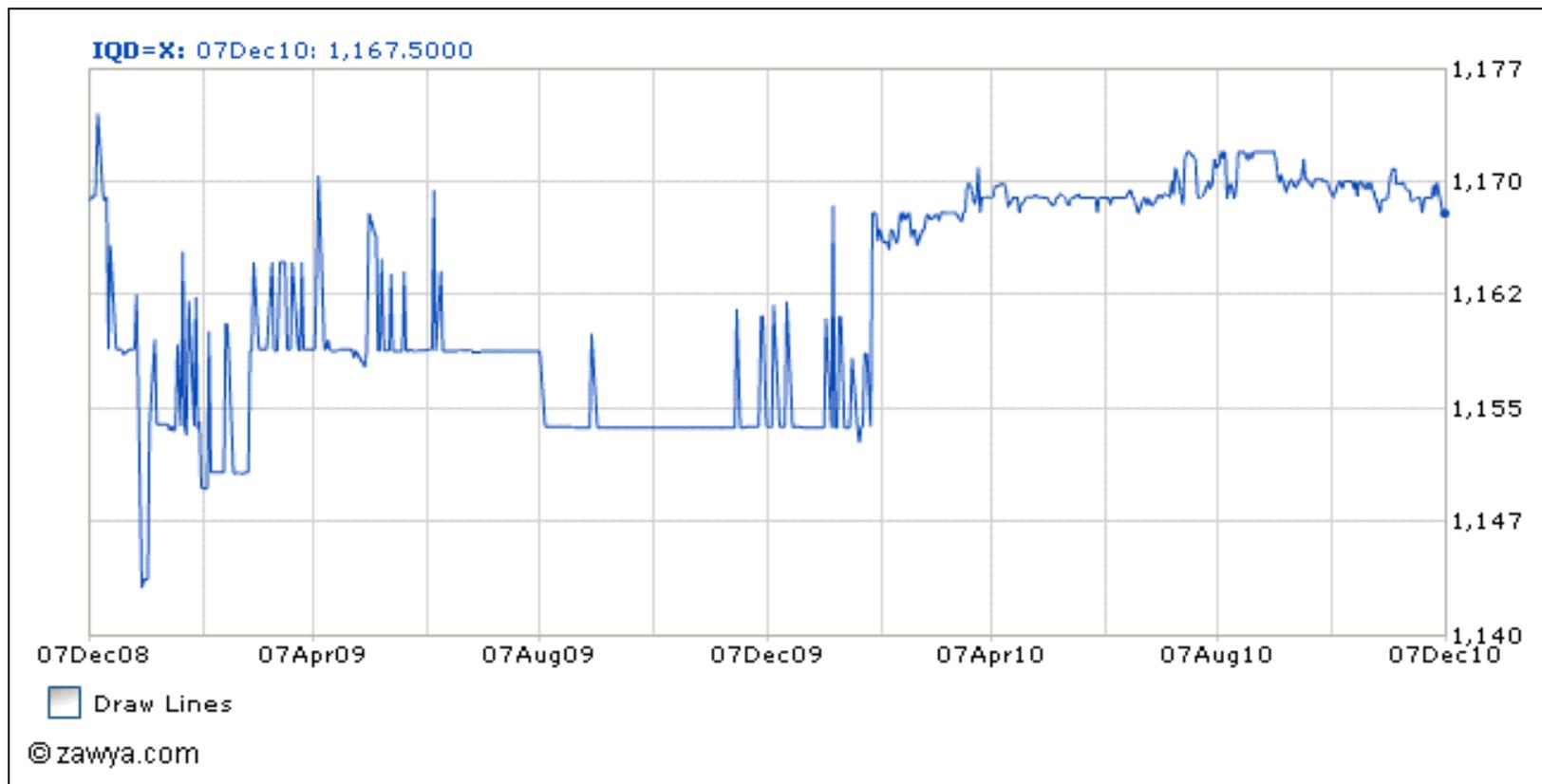
□ 外国為替システム(IMF資料より抜粋)

・イラク中銀は2003年10月4日以降、日次の外国為替オークションを実施。2004年初頭以降、実質的にはドル・ペッグ体制だったが、2006年11月から2008年末の間、イラキ・ディーナール(ID)の対ドル上昇を容認し、クローリング・ペッグ制を導入。2009年から現在までも安定推移している。

・基本的にイラクの為替制度は財政・資本の両面で自由であるが、以下5点において、IMFの承認を前提とした為替制限を実施している。

- 外国人が投資・給与などを国外送金する際、イラク政府への支払い責務が終了していること。
- 外国籍の企業が国外送金する際、税金支払済み証明書あるいは政府に対し税金債務を負っていないことを述べたレターの提出。
- 外国人がID15m以上を国外送金する際、銀行は送金手続き取り組み前に、公的機関に対する同人の支払い責務確認を行う必要。
- イラク人が無効となった相対支払い契約にもとづいてヨルダンに負った責務。
- 治安を理由とした為替制限の維持はIMFに対し通知義務あり。

□ 過去2年の対ドル為替レート推移

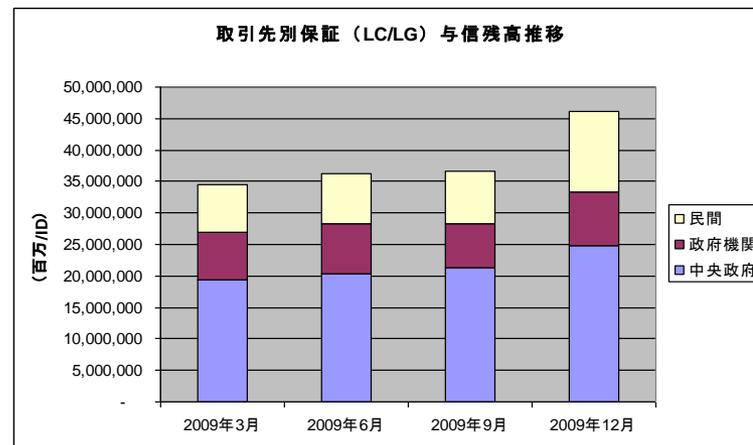
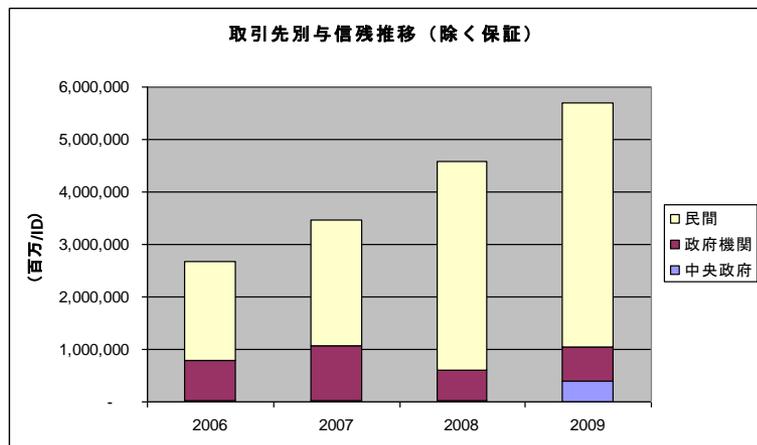


(出所:Zawyaウェブサイト)

3. 銀行の与信機能

□ 銀行与信の特徴

- 国営の二大行(RafidainとRasheed)は対外未払い債務を抱えるため、L/Cや送金などの対外業務を行えず。イラク戦争後に設立されたTrade Bank of Iraq(財務省100%出資)がここ数年の対外業務の中心
- 新設の民間銀行は資本規模が小さく、現在、資本金がID50bn(USD43m)~100bn(USD86m)程度。民間の与信能力向上のため、2013年までの資本増強が義務化されている
- 一方、治安問題や政治混乱はあるものの、過去3年間(09年まで)で貸出113%増加しており、特に民間向けは147%増と急拡大
- L/C・L/Gの発行は政府向けが最も多く全体の54%を占めるが、2009年中は民間向け発行分が急増
- 民間銀行の対外決済はトルコ、レバノン、ヨルダンなどの周辺国経由が多い



<イラク国内銀行による業種別与信供与状況>

(金額：百万/ID)

		合計	建設	対外	社会・サービス	金融・保険・不動産	運輸・倉庫・通信	卸売・小売・ホテル	電力・ガス	製造	炭鉱・採石	農林水産
ローン	国営	3,762,266	973,581	503	1,140,455	156,996	63,234	643,234	74,497	312,041	78	397,647
	民間	1,927,796	214,912	23,394	113,958	99,297	49,532	1,299,717	5,479	102,041	0	19,466
	(ローン計)	5,690,062	1,188,493	23,897	1,254,413	256,293	112,766	1,942,951	79,976	414,082	78	417,113
保証	国営	41,167,082	6,955	14,095,976	8,420,159	375	913	20,332	260	18,621,248	2	862
	民間	4,904,763	1,486,190	141,415	645,639	70,756	177,111	2,034,209	62,488	119,311	160,904	6,740
	(保証計)	46,071,845	1,493,145	14,237,391	9,065,798	71,131	178,024	2,054,541	62,748	18,740,559	160,906	7,602
合計 (与信合計)	国営	44,929,348	980,536	14,096,479	9,560,614	157,371	64,147	663,566	74,757	18,933,289	80	398,509
	民間	6,832,559	1,701,102	164,809	759,597	170,053	226,643	3,333,926	67,967	221,352	160,904	26,206
	(与信合計)	51,761,907	2,681,638	14,261,288	10,320,211	327,424	290,790	3,997,492	142,724	19,154,641	160,984	424,715

(出所：イラク中央銀行資料からみずほコーポレート銀行作成)

4. 将来見通し

- マクロ経済の安定が金融セクターの整理・発展には不可欠。ただし現在の財政構造は原油生産・輸出の順調な拡大と原油価格次第の側面も
- 国連安保理でのイラク開発基金の後継メカニズムに注目
- IMFプログラムに沿って国営問題行の債権・債務の整理進展は？
- 原油開発プロジェクトなどの進展があれば、民間銀行業務の活性化につながり、銀行業務の政府から民間への流れが加速する可能性も
- 民間銀行は与信対応力を高めるため、中銀が定める最低資本金を超える資本調達を行う必要あり(向こう3年間で最低70億ドルの追加資本要)
- イラク企業・国民への銀行機能の普及で、銀行業界の成長可能性は非常に大きい
- 治安・政治状況を横目に、慎重ながら外資参入の姿勢もあり
- 銀行の資本市場での資金調達やエネルギー開発ブームを見越した投資ファンドなどの流入で証券市場の拡大余地は大きい
- しかし、上記全てが治安・政治情勢の安定化次第か

みずほフィナンシャル・グループ 中東拠点所在地



Mizuho Financial Group Middle East Locations

As of December 2010

Dubai Branch @ Dubai International Financial Centre (“DIFC”)

Name: Mizuho Corporate Bank, Ltd., Dubai Branch
History: Established in 2007
Location: 2nd Floor, Building No. 5, Gate Village, DIFC
Address: P.O. Box 506607, Dubai, U.A.E.
General Manager: Tetsuo Takagi, Regional Head for the Middle East
Telephone Number: + 971 4 425 9200
Fax Number: +971 4 435 9219

Business:

As the Middle East Headquarters for Mizuho Financial Group companies, Dubai Branch is responsible for coordinating Mizuho’s business activities in the region to meet client needs. Geographical coverage of Mizuho’s “Team Middle East” stretches from Iran in the east to the setting-sun in Algeria to the west.

Mashreq Bank Japan Desk

Name: Mashreq Bank Japan Desk
History: Established in 2003
Location: Dubai Internet City, Mashreq Building 3F
Address: P.O. Box 1250, Dubai, U.A.E.
Head of Japan Desk: Shinichi Ito
Telephone Number: +971 4 207 7267
Fax Number: +971 4 207 6560

Business:

In 2003, Mizuho Corporate Bank entered a cooperation agreement with one of the leading local commercial banks, Mashreq Bank, and established the “Japan Desk”. It is from this team of six people that Mizuho has been able to provide its home country clients with the most efficient local banking services in Dubai, Abu Dhabi and Qatar.

Bahrain Representative Office

Name: Mizuho Corporate Bank, Ltd., Bahrain Representative Office
History: Established in 1980
Location: Suite 201–202, Entrance 4, 2nd Fl Manama Center, Manama
Address: P.O. Box 5759, Manama, Bahrain
Chief Representative: Yoshio Minagi
Telephone Number: +973 1 722 4522
Fax Number: +973 1 722 4566

Tehran Representative Office

Name: Mizuho Corporate Bank, Ltd., Tehran Representative Office
History: Established in 1975
Address/Location: 3rd Floor, No.1, 14th Street, Khaled Eslamboli Avenue, Tehran 15117, Islamic Republic of Iran
Chief Representative Officer: Dr. S. M. H. Fatemieh
Telephone Number: +98 21 8872 6593
Fax: Number: +98 21 8872 3449

Mizuho Saudi Arabia Company

Name: Mizuho Saudi Arabia Company
History: Established in November 2009
Location: North Lobby 1st Floor, Al Faisaliah Tower
Address: P.O. Box 55934, Riyadh 11544, Kingdom of Saudi Arabia
Chairman: Yasuharu Tanaka, Chairman of the Board
Telephone Number: +966 1 273 4111
Fax: Number: +966 1 273 4400

Business:

Riyadh is the most recent addition to Mizuho’s global network. This new company is established to serve the clients who want to do business in this fast growing “traditional yet new” modern Kingdom of 25 million inhabitants.

☆イラク・中東・北アフリカ関連のお問い合わせ先

❖ みずほコーポレート銀行

ドバイ出張所/バハレーン駐在員事務所

皆木良夫(みなぎよしお)

電話: +971-4-4259211

E-mail: yoshio.minagi@mhcb.ae

❖ みずほコーポレート銀行

国際管理部 営業推進室

深淵 智博(ふかがた ともひろ)

電話: 03-5220-8879

E-mail: tomohiro.fukagata@mizuho-cb.co.jp

堀瀬 靖(ほりせ やすし)

電話: 03-5220-8856

E-mail: yasushi.horise@mizuho-cb.co.jp

外為営業部 営業管理チーム

高木 寛(たかぎ かん)

電話: 03-5200-7443

E-mail: kan.takagi@mizuho-cb.co.jp

-
- /// © 2010 Mizuho Corporate Bank, Ltd.
 - /// The information contained within this presentation is created for the purpose of discussion to professional clients only and does not constitute any proposal, either explicitly or implicitly.
 - /// The provided information represents the ones that Mizuho Dubai Branch consider true and correct as of the date of the presentation. Mizuho Corporate Bank takes no responsibility for exactness of information contained.
 - /// Copying and using the information is prohibited.